

令和8年第1回

教育委員会定例会会議録

令和8年1月14日

令和8年第1回教育委員会定例会会議録

令和8年1月14日(水)

出席者(5名)

教育長	松 永 透	委員	須 藤 金 一
委員	松 原 拓 郎	委員	野 村 幸 史
委員	三 瓶 恭 子		

欠席者(0名)

出席説明員

教育部長	高 松 真 也	教育部調整担当部長、総務課長	寺 田 真理子
総務課施設・教育センター担当課長	村 部 修 弘	学務課長	久保田 実
学務課教育支援担当課長、指導課統括指導主事、指導課支援教育担当課長	星 野 正 人	指導課長	福 島 健 明
指導課教育施策担当課長、指導課統括指導主事、地域学校協働課学校連携担当課長	齋 藤 将 之	地域学校協働課長	越 政 樹
三鷹市立三鷹図書館長	立 仙 由紀子	三鷹市立三鷹駅前図書館担当課長	川 島 敏 彦
教育部理事(スポーツと文化部調整担当部長、スポーツと文化部スポーツ推進課長)	平 山 寛		

事務局職員

副参事	青 木 涼 子	主 事	野 口 耀 羽
-----	---------	-----	---------

令和8年第1回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和8年1月14日(水) 午前10時開議

日程第1 教育長報告

日程第2 議案第1号 令和8年度一般会計予算見積書について

午前10時01分 開会

○松永教育長 それでは、ただいまから令和8年第1回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名委員は、須藤委員にお願いいたします。

それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

日程第1 教育長報告

○松永教育長 日程第1 教育長報告を議題といたします。

高松部長、お願いいたします。

○高松教育部長 では、まず私からは大きく2件、本日席上に配付させていただいております資料に基づいてご報告申し上げたいと思います。

まず1件目、国立天文台周辺地域まちづくりにおける義務教育学校に関する基本方針の策定スケジュールについてでございます。昨年、別途、教育委員の皆様には共有させていただいたところでございますけれども、改めて定例会の場で12月の文教委員会の資料によりましてご報告を申し上げたいと思います。

まず、1 経過に記載のとおり、本年度、国立天文台周辺地域まちづくりにおける義務教育学校に関する基本方針の策定に取り組むこととしておりまして、令和7年9月には教育委員会での協議を経まして同方針（素案）を策定し、12月には同方針（案）を策定することとしていたところでございます。

2 「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」への対応でございます。市では、物価高騰や人材不足、公共事業の入札不調などの社会経済情勢を踏まえまして、「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」をまとめました。同方針では、国立天文台周辺のまちづくりを含む優先プロジェクトにつきまして、整備の全体像を想定しつつも、整備内容の厳選、時期の慎重な検討など、現在の社会経済情勢の中で実現可能なプランへと転換すること、また、その後の整備等については、市民ニーズや財政状況等を勘案し、段階的な整備等を検討することとしております。これに伴いまして、国立天文台周辺地域土地利用整備計画につきまして、策定スケジュール等の見直しを検討することとしており、同整備計画と連動しながら策定することとしておりました「国立天文台周辺地域まちづくりにおける義務教育学校に関する基本方針」につきましても、策定スケジュールの見直しを検討することとしたところでございます。

この件につきまして、12月議会中の文教委員会等にもこの資料によりましてご報告を申し上げます。

1件目は以上でございます。

続きまして、昨年12月議会、令和7年第4回市議会定例会に関して、2点ご報告を申し上げます。

まず、議案の関係について、口頭になりますが、ご説明いたします。

昨年11月の教育委員会で協議をさせていただきました、三鷹まるごと博物館条例提案

に伴う博物館及び文化財保護に関する事務の管理・執行につきまして、三鷹市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正を含みます三鷹市組織条例の改正が、総務委員会での審査の上で、本会議最終日におきまして賛成多数をもって可決されました。博物館及び文化財保護に関する事務につきまして、令和8年4月1日から市長の職務権限に移管しまして、総合行政の下でより一層の連携を図ってまいりたいと考えております。併せまして、三鷹まるごと博物館条例の制定につきましても、文教委員会での審査の上で、本会議最終日に満場一致で可決されたところでございます。

市議会の2点目ですけれども、一般質問についてでございます。本会議の初日1日目から3日目に一般質問が行われております。本日の配付資料に一般質問の通告一覧と細かな項目、質問内容の一覧を配付させていただいておりますので、ご参照いただければと思います。時間の関係もございまして、通告一覧に沿ってその一部についてご紹介申し上げたいと思います。

まず、No. 2、中泉きよし議員です。三鷹市の中学校生徒の不登校出現率が平成30年度以前の十数年間、他自治体に比べて突出して低いという事象が現れた要因で最も大きく影響を与えたものと、そう考える理由等についてというお尋ねでございました。

平成30年度以前の十数年間の不登校出現率につきましては、長期欠席生徒の計上区分に従いまして適切に計上している数字であると認識していること、その上で、当時の数値が他自治体より低かった背景には、教職員による生徒や保護者への聞き取りなど、丁寧な支援の積み重ねがあると捉えていることをお答えいたしました。

次に、No. 4、成田ちひろ議員でございます。学校の改修工事等に伴いまして、校庭や体育館等の利用が制限されることの教育環境への影響についてのご質問でした。

学校の改修工事等に際しましては、学校と工事担当課、教育委員会事務局の連携を図り、外遊び、体育授業や運動会などの行事、またクラブ活動などの運動機会の確保に努めていること、例えば大規模改修工事におきましては、夏休みに集中して工事を行ったり、運動会を工事に入る前の春に行ったりする調整、また学校の建替工事におきましては、学園内の他の学校の校庭を活用するなど、児童・生徒の教育機会や体験機会ができる限り確保できるよう、必要な対策を講じていることをご説明し、今後も引き続き学校関係者、また設計工事担当課と連携して丁寧に取り組んでいくとお答えをいたしました。

次に、No. 6、山田さとみ議員です。(3)にある家庭と学校の連絡手段のデジタル化について、現状、校支援アプリと紙のお知らせが混在して、保護者から分かりにくいとの声があるので、保護者に配布されるプリントをアプリに一本化すべきというご質問でございました。

学校からのお知らせを校支援アプリでデータ配信することで、保護者の皆様が確実に受け取ることができ、子どもの持ち帰りの負担も減るという点で、デジタル化のメリットは大きいと考えている一方で、学校からのお知らせや連絡の中には、学校だよりや学年だよりなど、ご家庭で掲示をいただいたり、また読み返していただいたりするために、紙で配布したほうがより効果的と考えられるものもあるということをご説明しまして、今後もデジタル化の好事例については教務主任会などを通じて共有し、各校の実態、またお知らせ

の内容に応じて、より効果的なデジタル化が進むよう支援していくとお答えをいたしました。

次に、No. 7、前田まい議員です。都立調布特別支援学校の老朽化等に伴う改築計画について、東京都から市への改築計画や仮設校舎建設予定の説明、また保護者への情報提供についての質問でございました。

都立調布特別支援学校の改築と仮設校舎を稲城市に建設するという予定につきましては、令和7年6月、東京都教育庁の担当部署から文書により、来年度以降に同校へ就学を希望する保護者への情報提供の協力の依頼がございまして、それを受けて、本年度の就学相談において当該支援学校への就学を検討している保護者に都から示された改築計画の説明をしていること、また仮設校舎への通学については、保護者からも通学バスの乗車時間などの心配の声をいただいております、子どもの体調面や情緒面等からも通学時間はなるべく短いほうが望ましいと考えていること、こうしたことから、稲城市の仮設校舎に移る際は、東京都においてスクールバスなどの対応を配慮していただくとともに、丁寧な説明を行い、児童・生徒、保護者の負担や不安をできる限り軽減することが必要と考えており、東京都市教育長会等を通じて機会を捉えて都に要望することを検討していくとお答えをいたしました。

次に、通告一覧の裏面をごらんください。No. 9、太田みつこ議員です。切れ目のない不登校支援体制の構築ということで、不登校の現状認識とか、研究会の提言を踏まえた取組と今後の方向性についての質問でした。

本市における不登校児童・生徒数は、令和元年度より増加傾向にありまして、今後も数年間は続くものと捉えており、その現状を重く受け止め、三鷹市教育ビジョン2027においても、不登校支援の充実を明確に位置づけ、全ての児童・生徒が、自分がここにいるといいんだと感じられる学校づくりを目指していること、先の研究会の提言を踏まえ、長期欠席・不登校の児童・生徒が学びたいと思ったときに学べる環境を整えるために、不登校の深刻度とニーズに応じた重層的な支援体制の構築に取り組みまして、特に令和7年度は、小学校の校内別室支援員の配置や、中学校の不登校対応巡回教員の配置によります在籍校内における不登校児童・生徒の居場所づくりの強化とか、相談リーフレットの作成、そして保護者の集いの開催等に取り組んでおり、引き続き継続、拡充に努めていくと答弁をしております。

次に、No. 14、おばた和仁議員でございます。国立天文台周辺のまちづくりについて、コミュニティ創生の視点から、学校3部制も踏まえて、羽沢小が現在地からなくなることによる地域コミュニティへの影響とか、羽沢小の移転はなお慎重に検討すべきではないかという質問でございました。

学校3部制は、コミュニティ・センターや地区公会堂等に加えまして、市民にとって歩いて行けるより身近なコミュニティ活動の拠点の一つとして、学校施設も加えて活用を図るものとなりますが、羽沢小は、地域コミュニティの核となる大沢コミュニティ・センターと近接し、現在も地域の皆様はそこを拠点として活発に活動されていると認識していること、また、スクール・コミュニティに関して、その拠点が新しい学校に移転しても多拠

点型の活動は確保できると考えていることをお答えいたしました。国立天文台周辺のまちづくりは、学校教育の観点のみならず、総合的なまちづくりの取組であることから、教育委員会としましても、様々な観点から慎重に検討を進めることが必要と考えていること、児童の安全安心の確保やさらなる教育の充実の実現に向けまして、検討委員会での議論も参考に、市として土地利用整備計画の策定を進めていきますが、昨今の建設費高騰、不透明な社会経済情勢を踏まえ、整備の全体像は維持しつつも、必要な整備内容を厳選するとともに、時期を慎重に検討し、実現可能なプランへと転換していく方向であることを答弁いたしました。

次のページをごらんください。一番上、No. 16、蛭澤征剛議員でございます。国立天文台周辺地域まちづくりにつきまして、おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会から推進の方向で令和3年に要望書が提出されておりますが、その要望書提出に至るまでの議論の内容等がコミュニティ・スクール委員会の会議録に記されていないことは、規則にも作成を規定している会議録の在り方として問題ではないかというお尋ねでございました。当時の会議録には、要望書の原案が示されて趣旨説明がされたこと、またそれに対し意見ももらったこと、修正したものを委員にメールで確認した上で市教委に提出予定であることが示されているところでございますが、協議の内容や決定事項等の記載がないというご指摘でございました。

答弁では、会議録の在り方についての問題提起は受け止めさせていただき一方で、コミュニティ・スクール委員会は、市民が主体となって運営する会議であり、いわゆるボランティアな性質を有していること、委員の負担とのバランスに配慮する必要がある中で、より一層会議としての透明性を高める会議録の在り方については、常に見直していきたいということで答弁をいたしました。

続きまして、最後ですが、No. 22、石井れいこ議員でございます。子どもの主体性や権利という中で、現在の学園・学校目標について、大人、学校、行政が望む子どもの姿が前提になっており、子どもの権利に関する条例の制定に伴い、子どもが主体となるよう変更すべきだというご指摘でございました。

子どもが権利の主体であるという考え方は、当然、教育委員会としても重要であると考えておりまして、学校教育において尊重されるべき基本的な理念で、子どもが自ら考え、選択し、社会に関わる力を育む教育を推進しているところであること、学園・学校の教育目標や目指す児童・生徒像は、学校教育におきまして、子どもたちが健やかに成長し、多様な社会の中で自立して生きていくために必要な力を示す指針として位置づけているものでありまして、特定の価値観に誘導したり、子ども一人ひとりの個性や価値観を否定したり、画一的な生き方を押しついたりするものではないということをご説明いたしまして、今後も学園・学校目標につきましては、時代の変化や、現在市で進めております子どもの権利に関する条例（仮称）の制定に向けた取組等を踏まえながら、必要な見直しや表現の精査を行い、子どもが権利の主体として尊重される安全安心で快適な学校づくりを目指していくということでお答えをいたしました。

私から冒頭のご報告は以上でございます。以下、順次、各課からご報告を申し上げます。

○松永教育長　それでは続きまして、総務課、寺田部長、お願いいたします。

○寺田教育部調整担当部長　それでは、資料の4ページを開きください。4ページは、実績等の報告です。

12月3日に井口小学校の教育委員会訪問、12月17日に第一小学校の教育委員会訪問を実施しました。

12月8日の市議会総務委員会では、補正予算について審議しました。

そして、市議会文教委員会においては、12月10日に行政報告を5点行いました。国立天文台周辺地域まちづくりにおける義務教育学校に関する基本方針の策定スケジュールについて、中原小学校建替えに向けた取組について、令和6年度児童・生徒の問題行動・不登校等の実態について、学校3部制推進プラン（案）について、そして図書館の子どもブックスポットの設置について報告をしました。

また、12月19日の文教委員会では、中原小学校のアスベストについて報告しました。この件につきましては、教育委員の皆様へのご報告は、メールで資料を送らせていただきました。中原小学校の建替えに向けた基本設計業務の実施に当たり、改めてアスベストの事前調査を行った結果、新たに天井の下地部分にアスベスト含有の吹きつけ剤があることが判明したというもので、文教委員会に報告後、学校の保護者へ情報提供を行いました。

続きまして、5ページの予定等の報告です。

本日1月14日午後から東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会・第2回理事研修会が開催され、須藤委員が出席してくださる予定です。

そして、1月18日日曜日には、広報紙の「みたかの教育」が発行されます。今回は、1面は市立小・中学校のデジタル・シティズンシップ教育の紹介で、コラムでは須藤委員に学校のICT教育をテーマに書いていただいております。

1月21日は、東京都市教育長会定例会及び東京都教育委員会との連絡会が立川であります。

また、1月30日に、教育委員会と小・中学校の保護者代表との懇談会を予定しております。詳しくは改めてご案内させていただきます。

そして、2月5日に文教委員会、こちらの報告内容については調整中です。

そして、2月6日に第三小学校の学校訪問を予定しています。

私からは以上です。

○松永教育長　続きまして、教育センター、施設係、村部課長、お願いします。

○村部総務課施設・教育センター担当課長　教育センター、施設係関係についてご説明いたします。

6ページをお開きください。実績等報告です。

中原小学校建替事業関連では、12月11日木曜日、中原小学校において第9回の中原小学校建替検討委員会を開催いたしました。議題といたしましては、基本設計委託業者をこのたびプロポーザルにて優先交渉事業者を決定したところでございますが、建替案に関するプレゼンテーション内容について評価されたポイントや概要を委員の皆様にご説明し、新しい学校への要望や課題などについて意見交換をいたしました。

設計工事につきまして完了いたしました案件としまして、(2) 工事・監督の4つ目、空調・LED照明の賃貸借、第二小学校ほか3校につきまして、12月をもって完了いたしました。

続きまして、7ページ、予定等報告につきましては、実績等報告で申し上げた以外の継続事業となっております。

私からは以上でございます。

○松永教育長 続きまして、学務課、久保田課長、お願いします。

○久保田学務課長 資料の8ページ、9ページをごらんください。

8ページ、実績等の報告についてです。

12月2日から4日にかけて、給食の放射性物質検査を実施いたしました。検査の結果、上半期で実施した13校と合わせて全22校で放射性物質は検出されませんでした。検査結果につきましては、市のホームページにて掲載しているところでございます。

12月16日に、学校保健会役員会を開催いたしました。役員会では、来年3月に発行いたします「みたかの学校保健」の原稿について調整、確認、依頼を行うとともに、令和8年度の講演会のテーマについて意見交換を行いました。今後、意見を踏まえ、講演のテーマを決定してまいります。

1月13日から2月末にかけて、小・中学校全校にて学校給食運営協議会を開催いたします。学校関係者、教育委員会、委託事業者、保護者の方が一堂に会し、学校給食の意見交換をいたします。

行事等予定につきましては、9ページに記載のとおりでございます。

私からは以上です。

○松永教育長 続きまして、総合教育相談室、星野課長、お願いします。

○星野学務課教育支援担当課長 10ページ、実績等報告です。

12月9日、通級支援委員会では、通級指導利用に関する審議を26件実施いたしました。

11ページの行事予定ですが、1月20日に就学支援委員会を実施する予定になっております。

また、こちらは記載がございませんが、1点ご報告です。令和8年4月に開設する自閉症・情緒障がい教育支援学級の改修工事等の進捗状況についてです。令和7年12月末までに当初予定していた教室改修工事等は完了し、これから2月末頃までを目途に備品や什器、教材等を納品し、4月の開室に向けて準備は進んでいるところでございます。

総合教育相談室は以上でございます。

○松永教育長 ありがとうございます。

続きまして、指導課、福島課長、お願いいたします。

○福島指導課長 12ページ、13ページをお開きください。

1月8日、小・中学校始業式が行われました。現時点ですが、特に感染症の広がりで学級閉鎖という報告は受けておりません。穏やかにスタートを切ることができました。

また、年末年始も含め、大きな事故等については報告は上がってきておりません。

13ページ、予定になります。1月27日火曜日から市役所1階にて小・中学校の代表作品の書初展が展示されますので、お時間がありましたらぜひごらんいただければと思います。

また、1月14日水曜日、本日からスキー教室が始まりました。現在のところ、確認しますと、60センチ以上の積雪があり、予定どおりスキー教室を実施できると聞いております。昨年予定していた第三中学校の2年生のスキー教室は、スキー場のキャパの許容の関係で実施できませんでしたが、今年度1月14日にまず三中2年生が実施することで、これで2年生と1年生の切替えがしっかりと行われるということになります。

指導課からは以上です。

○松永教育長 続きまして、地域学校協働課、越課長、お願いいたします。

○越地域学校協働課長 14ページ、行事实績等のご報告になります。

12月4日木曜日、公立学校PTA連合会「学校代表者との懇談会」ということで、PTAの皆さんと学校長をはじめとする代表者での懇談が行われたところでございます。

12月20日土曜日には、みたかスクール・コミュニティ講座（対面）の第4回目としまして、昔話、読み聞かせ等をテーマとした講座を開催しました。こちらはお子さん連れの保護者も含めてご参加をいただいたところでございます。

また、その日の午後、公立学校PTA連合会との合同研修会におきましては、「家庭を『絶対安心の場』にする」ということをテーマに講演をいただいたところでございます。

また、記載がございませんけれども、前回の教育委員会定例会にてご報告させていただきました学校3部制推進プランの案につきましては、12月22日から1月16日までの期間で幅広い市民の方の意見募集を行っているところでございます。

15ページ、行事予定等報告でございますが、20日火曜日には、みたかスクール・コミュニティ講座（対面）での今年度最後の講座となりますけれども、学校支援ボランティアの魅力について、指導課の関口指導主事を講師に開催を予定しているところでございます。

また、2月4日水曜日には、スクール・コミュニティ推進員連絡会に引き続きまして、市内の様々なスクール・コミュニティに関わる団体の方にご参画いただいておりますスクール・コミュニティ推進会議の幹事会が開催予定となっております。

地域学校協働課からは以上でございます。

○松永教育長 では続きまして、図書館から、立仙図書館長、お願いいたします。

○立仙三鷹図書館長 16ページの実績報告からです。

まず、12月6日土曜日に、ワークショップ「たのしい英語の学びかた 英語多読のススメ！」を実施しました。38名の方が参加され、アンケートでは、80%近くの方から満足、だいたい満足という回答をいただきました。

また、同じ日の6日、出張ひまわり号としまして、移動図書館を中央防災公園に出張させていただきました。当日は、市役所の中庭で商工まつり、また元気創造プラザでは生涯学習センターフェスティバルをやっていたことで、40名弱の方にお立ち寄りいただき、貸出や新規登録をしていただきました。

続きまして、12月16日から1月12日まで、「中身はお楽しみ！本の福袋」を本館で実施いたしました。8種類のグルーピングした福袋を用意しまして提供させていただいたところです。

また、12月19日から1月12日に、東部図書館で初めてティーンズ対象まなびの場事業で学習席の開放を行いました。もしかしたら本館よりも利用が多かったのかなという日もございましたので、引き続き、継続していきたいと考えております。

続きまして17ページ、今後の予定でございますが、1月22日に三鷹市立図書館協議会で志木市立いろは遊学図書館に視察に行まいります。

また、1月31日、こちらにも再び出張ひまわり号として中央防災公園に移動図書館を出張する予定でございます。

また、1月28日から2月2日には、こちらにも初めてですが、図書館のパネル展を元気創造プラザの情報コーナーで実施します。今回は、「図書館の魅力、まるっと公開中」というキャッチフレーズの下、5館プラス井の頭コミュニティ・センターの連携館も含めて、各館の特色とか図書館のサービス内容についてパネルを作成しまして、展示をする予定です。それに併せて先ほどの出張ひまわり号も元気創造プラザに出張する予定でございます。

また、本館での空調設備等改修工事につきましては、順調に進んでおりまして、予定どおり4月のオープンに向けて、今後は引っ越しの調整など、最終の大詰めになっているところです。

図書館からは以上です。

○松永教育長 では続きまして、スポーツと文化部、平山部長、お願いします。

○平山教育部理事 私から、生涯学習課の分も含めまして、スポーツと文化部に関する報告を一括してご説明いたします。18ページをごらんください。

12月4日、トライアスロンの高橋侑子選手の表敬訪問がありました。東京・パリオリンピックに出場され、女子トライアスロン界を牽引された高橋選手ですけれども、現役引退ということで表敬訪問を受けたところでございます。

6日土曜日です。大沢の里古民家体験学習「紫草の根染め」を行いました。12人の参加をいただいたところでございます。

6日土曜日から7日日曜日にかけて2日間、三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデー及び生涯学習センターフェスティバルを開催したところでございます。1,806人の参加をいただいたところでございます。

11日木曜日でございます。狩野美雪監督の表敬訪問を受けました。デフバレーボール女子日本代表の金メダルのご報告をいただいたところでございます。

14日日曜日でございます。みたかの古文書を読むということでフェローシップを開催して、16人の参加をいただきました。

次に、第1回三鷹市荻村伊智朗杯卓球大会を開催いたしました。三鷹市を含む近隣9市で、小・中学生を対象といたしまして111人の参加、三鷹からは44人の参加をいただいたところでございます。

15日月曜日、伊藤翼選手、障がい者卓球で表敬訪問を受けました。井口小・四中出身

でございます、滋賀県で開かれた全国障害者スポーツ大会卓球一般男子で2位ということでご報告をいただいたところです。

20日土曜日の一番下です。「Poki 4コマまんがコンテスト2025」表彰式ということで、一般部門225件、ジュニア部門316件のご応募がございました。ジュニア部門には三鷹の子どもたちからもご参加をいただきまして、内訳には三鷹の子どもの人数はありませんが、ジュニア部門で最優秀賞のうち1人は三鷹市のお子さんで、優秀賞4人のうち1人が三鷹市のお子さん、入選10人のうち7人が三鷹市のお子さんということで、非常に多くの三鷹の子どもたちにご参加いただいたところでございます。

19ページはこれからの予定でございます。

1月31日土曜日に、古民家で「紫草の種まき」、そして2月3日、三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議定例会を開催予定でございます。

一番最後、2月8日日曜日、文学講演会「言葉の不思議」ということで、講師には歌人・エッセイストの穂村弘さんをお迎えして実施する予定でございます。

以上でございます。

○松永教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。いかがでしょうか。

三瓶委員、お願いいたします。

○三瓶委員 一番初めに国立天文台のまちづくりのスケジュール等の見直しというお話があったんですけども、昨今の状況を見たら致し方ないかなという気がしていますが、結構前に私が建設会社で働いていたときに、それまで順調に進んでいたものが、あるとき突然、もう開発許可が下りているものとか、あと確認申請が下りているものすら止まってしまった時期があったんです。そうなったときに、また再び経済が流れて、もう一度世の中が動き始めたときに、その間、放置というわけでもないけれども、あまり深く検討していなかったところと、いろいろ考えていたんだろうなというところでは、経済が流れ始めたときに大きな差が出ているなという実感がすごくしたので、こうなってくると、より優先順位とか、あと地域が求めている施設の姿とか、そういったものが割とはっきり見えてくるとも思えるので、検討は続けてもらいたいなと思いました。

あともう一つなんですけれども、そうは言っても、毎年新入生というのは入学してきますよね。今年の4月、羽沢小学校では1年生は1クラスしかつけれないという話を聞きました。私の子どもが小学生だったときにもそういうときがあり、通常の学校に溶け込んで学校生活を送っている子はそのままといいこともないんでしょうが、ちょっとつまずいてしまったりとか、あと人間関係で悩んでしまったりしているようなお子さんというのは、例えば一つ学年が上がったら何かリセットできるのではないかと、何か環境が変わるのではないかと希望が持てないということが、すごくつらい印象があったんです。その当時はコミュニティ・スクールがまだできていなかったところから発足当時にかかっていた時期でしたが、今はコミュニティ・スクールがつくられてから20年ぐらい時間がたって、学園内の交流も結構スムーズにできてきているようですし、あと何より地域の受け止め方も大分変わってきていると思うんです。それは年月の実績ということになると思うんです。

けれども、そういった実績を生かして、子どもたちに寄り添うような、そういった指導、教育をしていただけたらいいかなと思っています。20年前と今ではそういった周りの環境が違うのが少し希望があるところかなと思っているので、ぜひよろしくお願ひしたいところだと思いました。

○松永教育長　ありがとうございます。

○野村委員　それに関連して、よろしいですか。

○松永教育長　野村委員、お願いします。

○野村委員　最初のご指摘に関連して、この国立天文台の件は、総論としては分かります。例えば身近なところでは、中野サンプラザホールが、1,800億円ぐらいのものが、清水建設が上振れしたというので三千数百億円、そういう話は身近なところでたくさんあります。ですが、この表現を含めて、具体的に人員が足りない、あるいは公共事業の入札不調などの社会情勢を踏まえて、どのぐらい、例えば金額的には上振れというか、かかるのか、あるいは人員が足りないというのは具体的にどうなのかということをもう少しこの中で示さないと、総論だけになってしまいますので、先ほどの三瓶委員のご指摘は、これを全く白紙撤回にするのではなくて、それでも計画だけはきちんと残して、続けていったほうがいいのか、そのことに併せて、私はそのことを指摘したいと思います。

○松永教育長　ありがとうございます。

高松部長、お願いします。

○高松教育部長　ありがとうございます。冒頭申し上げた緊急対応方針というところでも、整備の全体像を想定しつつということについては明記させていただいているところでございます。現状、天文台の北側の敷地を活用いたしまして、義務教育学校とか、また地域のコモンズを整備していく方針に、市としては変更がないものと考えております。現時点で中止、凍結ということを考えているわけではございませんので、今後のスケジュール等の見直しを検討することとしておると思っております。12月22日にも地域の皆様、関係者の皆様に集まっていた検討委員会があったわけですがけれども、そこでもしっかりいただいたご意見について、今後の土地利用整備計画の策定に生かしていきたいということでもご説明を申し上げております。庁内調整をしっかりと図りながら、引き続き検討を進めていきたいと考えております。

○松永教育長　ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

○野村委員　具体的に、一般論で不調だとかではなくて、このぐらい厳しいんだということは、今の時代ですから、可能な限り数値やそういうものを示して、こういう状況だからこれについて見直しをするというほうが、教育委員だけではなくて、市民としても納得しやすいなと思います。

○松永教育長　高松部長、お願いします。

○高松教育部長　ありがとうございました。いただいたご意見も踏まえまして、今後の検討をしっかり行っていきたいと考えます。

○松永教育長　ありがとうございます。

先ほど三瓶委員からありましたけれども、羽沢小学校が1クラスで、ずっと1年から6年まで進んだときには、ちょうど私は統括指導主事で三鷹市教育委員会におりまして、保護者の方から、クラス替えができないというのはこれだけきついんですということで、よく相談を受けていたのを覚えています。確かに、三鷹ではなかなか単学級の学年がずっとということはなかったし、それが初めてだったのかななどと思っはいるんですけども、先ほどのご指摘のとおり、どうやっていったら多様な人間関係の中で子どもたちが育っていくことができるのかといったことについては、教育委員会としても、それから学校としても、様々な部分での配慮が必要だと思っておりますので、また学校と指導課で相談をよくしていただけるようにと思っています。

ほか、いかがですか。野村委員、お願いします。

○野村委員 学務課の報告のことで、学校給食一食まるごと放射性物質検査というものがございますよね。これは恐らく東日本大震災の翌年ぐらいからそれぞれの自治体で測るようになったんだと思いますけれども、今回はないということで、当然だろうと思うし、もちろん結構なことだとか、もうどのぐらい放射線が測定されていないことが続いているかということは一度教えてもらいたいことと、それからこれは始めがあれば終わりも考えなければいけないので、幾つかの自治体ではこれは検査すること自体をやめているということもあるように聞いているとか、承知していますので、これはそろそろやめることもここ数年間の検査結果を踏まえて検討していただきたいなと思います。

以上です。

○松永教育長 ありがとうございます。

久保田課長。

○久保田学務課長 放射性物質検査につきましては、野村委員ご指摘のとおり、東日本大震災を契機に、まず最初は東京都での検査、それから市独自の検査へと移行してきたところでございます。過去の検査において、放射性物質については一度も三鷹市におきましては検出されていないところでございます。

放射性物質検査につきましては、小学校・中学校だけではなく、保育園及び空間の放射線検査につきましても継続して行っているところですが、空間放射線検査につきましては段階的に取りやめていくという方向性も出ております。今後、保育園及び学校の給食における放射性物質検査につきましても、放射性物質検査の検討委員会という庁内の委員会がございますので、そちらでしっかりと議論しながら、検討を進めていきたいと考えております。

○野村委員 ありがとうございます。いわゆる行政という性格上、一度始めると、これをやめるというのはよほどのことがないとなかなか難しいというのは、いろいろな分野で承知しています。ましてやこのような安心というものに関連したことはなかなか難しいと思いますけれども、教育委員会で、これは今まで一度も出ていないんだったら、もうやめるべきという意見が出たという形で結構ですから、やめることもしていかないと、費用をどんどん増やしていくということとはできない、ある程度役割を終えたものはどこかで終了していくということも必要なことだろうと思っておりますので、私の意見として申し上げたいと

思います。

以上です。

○松永教育長 ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。須藤委員、お願いします。

○須藤委員 18ページのスポーツと文化部のところなんですけれども、12月にかけて多くの表敬訪問があったんだということが非常によく分かりました。ラグビーだったり、サッカーだったり、また個人の競技の方だったり、こうやっっているところと多くの方々が市に表敬訪問されているんだというのは、改めてすごいなと思いました。ぜひ、実際に関わっている部分もあると思うんですけれども、子どもたちによりこういったすごい選手に触れる機会が増えていくといいなということと、多分実際にやられているのかもしれないんですけれども、ラグビーとか、そういった選手であれば、ぜひ小学校での触れ合う回数を増やして、地域に貢献していただきたいなという気持ちがありました。

○松永教育長 そうですね。ありがとうございます。

平山部長。

○平山教育部理事 ラグビーとサッカーにつきましては、今、学校へ出張で来ていただいて、年数回という頻度でございますけれども、子どもたちに選手と触れ合っていただくような機会を設けているところでございます。また、表敬訪問をいただきますと、いろいろと三鷹の子どもたちに対して、今後学校へ訪問というところも、教育長もご出席いただいている中でお伝えさせていただいておりますので、そういった分野での貢献というところもぜひ促していきたいなと考えております。

○松永教育長 プロのスポーツ選手なので、子どもたちにとっても、学校に来てもらって、きらきらした瞳で憧れの存在として見たりとか、そういう子どもたちも大勢いますので、ぜひ広がるといいなということで、私からも、いつもありがとうございますということでお話をさせていただいているところです。

ほか、いかがでしょうか。

では私から。先ほど、東部図書館でのティーンズ対象のまなびの場事業ということで、本館より人が集まったのではないかといたお話をあったんですけれども、自習室のニーズといったところがすごく多いと私自身もすごく感じているところです。この間も、長崎の体験の発表会のときかな、元気創造プラザでも開放事業をやっていて、満席という状況があったりするというので、三鷹の場合、市立図書館としてもなかなか大きな閲覧席というものをつくってあげることが今はできていないなということもあって、実際、図書館で、東部でもそうですけれども、やってみて、図書館長の立場から見て、自習室はどんな感じで、もうちょっとあったほうがいいのか、いろいろ意見があったらいただければと思うんですけれども、いかがですか。

○立仙三鷹図書館長 そうですね。図書館は5館ありまして、例えば駅前などには、スペースがないので、自習室は設置していないんです。ただ、ほかの4館につきましては、多少の差はありますが、設置はしております。

そんな中で、学生の方もそうですけれども、大人の方も最近ですと、会社の関係だった

り、資格取得の勉強などでも使っているようには感じていますので、身近なところにあると、PRの仕方にもよりますが、利用は促されるのかなとは感じております。

○松永教育長　ありがとうございます。滞在交流型の図書館ということはずっとうたいながらやってきているところがあったんですけども、なかなか場所の確保は結構大変なところもあるのかなとは思っています。ただ、そういった部分をこういう形で進められたことはすごくいいことだなと思っていますので、また今後もこういう企画を進めていただけたらありがたいなと思います。

立仙館長、続けてブックスポットについて説明をお願いします。

○立仙三鷹図書館長　ブックスポットは、地域の身近なところで絵本に触れ合う場所ということで、今回、設置協力店の募集をさせていただきまして、室内のところにちょっとした本を置けるスペースが確保できる、またどなたでも出入りしやすいようなところに限って本を置きます。また、その本については、市民の方から寄贈いただいたお子さん向けの本を活用する形になります。12月の1週目に広報にて募集をさせていただきまして、今のところ寄贈本につきましては、年末年始でおうちの片づけとかも進んだのかと思いますが、そういったところで各館に寄附をされています。

また、設置協力店につきましては、今のところ4店ほど調整をしているところがございまして、そのうちの3店は飲食関係です。1店につきましては、薬局とかの関係になっています。今後2月以降、具体的にその設置協力店に設置を進めていく予定です。1か所につきましては、カフェなんですけれども、おはなし会とか、そういったイベントなどもきたらなどというお話をいただきましたので、調整をして、協力しながら進めていけたらなど考えているところです。

○松永教育長　ありがとうございます。子どもが本に親しむ環境をどうやってもっともっと広げていくのかということはずごく大切なことだなと思っていますので、ぜひ進めていただいて、PRをよろしくをお願いします。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうかね。

それでは、日程第1　教育長報告を終わります。

この際、議事の都合によりしばらく休憩いたします。

午前10時51分　休憩

午前10時53分　再開

○松永教育長　それでは、休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

委員の皆様にお諮りいたします。日程第2　議案第1号については、意思形成過程のため、秘密会で審議したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○松永教育長　ご異議なしと認めます。よって秘密会を開くことに決定いたしました。

午前10時54分　秘密会開会

午前11時37分　秘密会終了

○松永教育長　以上をもちまして、令和8年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。
ありがとうございました。

午前11時37分　閉会